

鮮やかでクールな新色追加で、バリエーションも充実！

COLOR BEST 遮熱GLASSA (遮熱ガラス・シリーズ)

コロニアル遮熱ガラス



耐熱性グレード ★★★★ 色10年保証	保証 製品 本体	厚み 5.2mm	1坪あたりの重量 約68kg	一般名称 平形屋根用スレートφ5.2 (一文字)	適用地域 一般地域 ○ 積雪地域 ○ 多雪地域 ×	屋根30分耐火構造 FP030RF-9082 (硬質木片セメント板18mm以上)
---------------------------	----------------	-------------	-------------------	--------------------------------	------------------------------------	--

熱を遮って、住まいに快適さを。環境にも気配りを。
それは、赤外線を反射する屋根材。



環境技術実証事業 ETV 環境省

ヒートアイランド対策技術分野
実証番号 051-1325
第三者機関が実証した
性能を公開しています
[実証年度 H 25]
www.env.go.jp/policy/etv
本ロゴマークは一定の基準に適合していることを
証したものではありません
当マークは平成26年度のものです。

コロニアル遮熱ガラスの効果が、環境省の
環境技術実証事業でも実証されました。

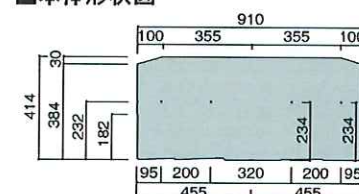
環境省による「環境技術実証事業」とは、すでに実用化された先進的環境技
術を第三者機関が客観的に判断し、その普及を促進する事業です。コロニ
アル遮熱ガラスは発売した年の年度で同事業の「ヒートアイランド対策技術
分野(建築物外皮による空調負荷低減等技術)」において効果が実証され、
環境省環境技術実証マークを取得しました。

平成23年度(実証番号051-1115):ガラス・クールシルバー、ガラス・クールホワイト
平成24年度(実証番号051-1249):ガラス・クールベージュ、ガラス・クールオレンジ
平成25年度(実証番号051-1325):ガラス・クールブラック、ガラス・クールブラウン
ガラス・クールグリーン

仕様

働き寸法/厚さ	910mm×182mm/5.2mm
1枚の重量	約3.4kg
葺きあがり3.3㎡当たりの枚数	20枚
葺きあがり3.3㎡当たりの重量	約68kg
梱包入数	8枚
対応勾配	3寸以上 ※下葺材仕様により2.5寸以上

本体形状図



※ガラス・クールブルー、ガラス・クールレッドは平成28年度申請予定

カラーバリエーション

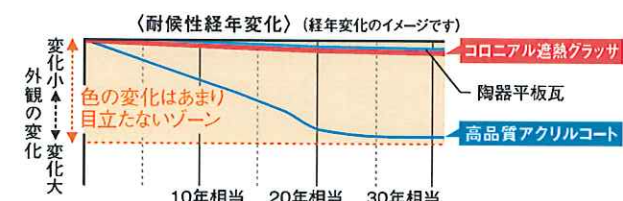


※光線の具合により色見え方が異なります。※印刷物と実物とは色が異なります。現物の商品サンプルなどでお確かめください。(2018.02)

ガラスコート+赤外線反射顔料で、美しさと心地よさをひとつに。

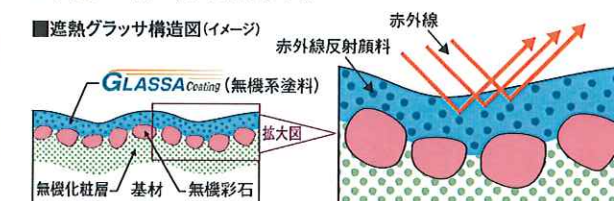
ガラスコートで屋根の美しさが長持ち。

屋根材表層のコーティングに、紫外線に強い独自のガラスコートを採用。色あせの原因となる紫外線の影響を軽減することで、その発色や光沢を末長くキープし続けます。



ガラスコートに赤外線反射顔料を配合。

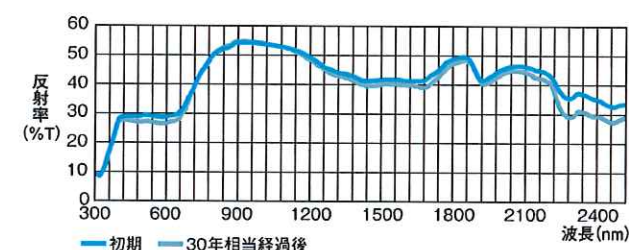
赤外線を反射する特殊な顔料をガラスコートに配合。遮熱ガラスの表面で、高いレベルで太陽の熱を反射し、野地板への熱の伝達、さらには屋根裏への熱の侵入を抑えます。



耐候性とともに反射性能も長期間持続。

紫外線に強いガラスコートに赤外線反射顔料を配合した遮熱ガラスは、長期耐候性とともに反射性能も長期間キープ。30年相当の経年試験でも、その高い持続力が確認されています。

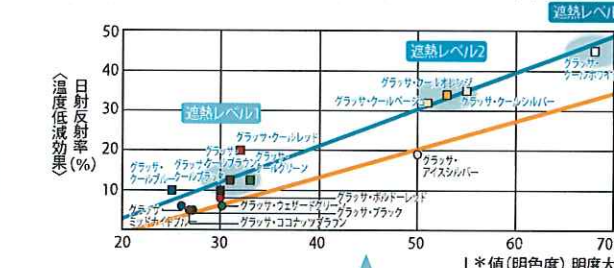
■耐候性試験分光光度計反射率測定データグラフ(ガラス・クールシルバー)



赤外線の反射によって日射反射率も向上。

太陽光に含まれる光線のうち、熱線となる赤外線の反射率を大幅に高めることで、屋根全体の日射反射率もアップ。屋根材の蓄熱を抑えて、居住空間内部への熱の伝達を抑制します。

■日射反射率の比較



屋根の表面温度と屋根裏温度を下げて、室内の温度低下に貢献。

赤外線を反射することで屋根の表面温度と屋根裏温度の上昇を抑制する遮熱ガラス。単体の効果はもちろん、熱シャット工法を併用すればより一層の温度上昇抑制効果が得られます。

遮熱レベル	遮熱レベル1 クール系 (ガラス・クールブラック)	遮熱レベル2 ライム系 (ガラス・クールシルバー)	遮熱レベル3 ホワイト系 (ガラス・クールホワイト)
ガラス・クールブラック / グラス・クールブラウン / グラス・クールグリーン / グラス・クールブルー / グラス・クールレッド			
遮熱レベル2 ガラス・クールシルバー / グラス・クールベージュ / グラス・クールオレンジ			
遮熱レベル3 ガラス・クールホワイト			

■当社実験結果(最大温度差)

	コロニアル遮熱ガラス (ガラス・クールブラック)	遮熱レベル1 クール系 (ガラス・クールブラック)	遮熱レベル2 ライム系 (ガラス・クールシルバー)	遮熱レベル3 ホワイト系 (ガラス・クールホワイト)
表面温度	試験基準温度	-5℃	-11℃	-19℃
標準工法 屋根裏温度	試験基準温度	-3℃	-9℃	-12℃
熱シャット工法 屋根裏温度		-12℃	-13℃	-17℃

2011年7月・2012年7月・2013年7月測定データ 場所:滋賀県湖南市 屋根勾配:6寸 屋根面積:23㎡ 断熱材なし 換気機あり

◎年間の冷暖房エネルギーを 約3%※削減し、省エネに貢献。

屋根裏の温度低減により、室内への熱の伝達を抑え、省エネへの貢献が期待される遮熱ガラス。当社が行なったシミュレーションでは、当社従来品に比べ、年間の冷暖房エネルギーを約3%削減することがわかりました。

※当社従来品比(コロニアル遮熱ガラスブラック) 京都府立大学尾崎教授による温度予測ツール「THERB」(国土交通省省庁法の特別評価方法認定ソフト)を使用した算出値です。【計算モデル】床面積121㎡の住宅をモデル化(屋根標準工法+天井無断熱、外壁SD通気工法+GW50mm)【外部環境】気象アメダス気象データ標準年(2000年版/大阪地域)に基づく【空調条件】冷房26℃(6~9月)、暖房20℃(12~3月)、実生活を想定した空調運転※年間の冷暖房負荷は計算に基づく目安であり、建物形状、地域、生活環境等により異なります。

